

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校3年生	社会科	地理探究	4	GSコース
教科書・副教材		新詳地理探究(帝国書院)・新高等地図(東京書籍)・サクシード地理(啓隆社)		

科目の目標			
本科目では、必修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に、系統地理的な考察、地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して、現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究する。その探究的な学びの手法として、生徒の端末を用いながら、表計算ソフトを用いた情報処理を行う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
	地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。	考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。	よりよい社会の実現を視野に、世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	調査、討論、発表などの探究的な学習を通して、現代世界における日本の現状について理解することで、望ましい将来像についての認識を深めている。		地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに、社会へ参画することへの意識が高まっている。
評価の方法	単元テスト 定期考査 パフォーマンス課題	単元テスト 定期考査 パフォーマンス課題 レポート	授業への取り組み 提出物への取り組み 単元テストと提出物への取り組みを二軸で評価

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	評価方法
1	地形	6	定期考査 単元テスト パフォーマンス課題 レポート
	気候	6	
	日本の自然環境	3	
	地球環境問題	4	
	農林水産業、食料問題	7	
	資源・エネルギー	4	
	工業	3	
2	第3次産業	2	授業への取り組み 提出物への取り組み
	交通・通信	2	
	貿易	2	
	人口、人口問題	2	
	村落・都市、都市問題	2	
	衣食住	2	
	人種・民族・宗教、民族問題	2	
	国家の領域と領土問題	2	
	世界地誌	11	
	持続可能な国土像の探究	2	